

技術同友会の活動と運営の支援業務

Secretariat Activities for “Japan Society for Technology”

キーワード 技術同友会、キャリア・パス、科学技術、研究者、開発技術者、FF会

1. 業務の目的

技術同友会（代表幹事武安義光、輿寛次郎）は科学技術の進展に関する対策を考え、かつその実現を目指すことを目的として昭和47年に発足した会員制の団体である。科学技術に深い関心を持つ産官学の有識者75名とこの会に賛同する13団体から構成されている。事務局は当研究所内にあって、研究所長が事務局長を務めている。

本業務は技術同友会の事務局として、その活動と運営を支援するために幹事会の世話と毎月1回の例会の準備、実施と後整理を行うものである。

2. 業務活動の概要

平成13年度も技術同友会は8月と1月を除き、毎月1回の例会を開催し、会員相互の情報交換と講演者による卓話を提供した。

次表に平成13年度に実施した卓話の一覧を示す。なお、講演の内容は卓話録として、小冊子にまとめ、欠席者等に配布している。

技術同友会平成の平成13年度例会卓話一覧

例会 (年月日)	表 題	卓 話 者
第342回 (13.4.26)	CG(コンピュータ・グラフィックス)を 使った映画の動向	篠田正浩 (映画監督)
第343 (13.5.28)	取水堰付設魚道の改良	岸 國平 ((財)農業技術協会 顧問) 仙波政男 (東京都産業労働局農林水 産部農地緑生課河川応急 担当係長)

第344回 (13. 6.29)	カリフォルニアの電力危機と電力自由化 問題	池 亀 亮 (東京電力(株)技術最高顧問)
第345回 (13. 7.24)	専門深化と全貌把握の止揚を求めて	小宮山 宏 (東京大学大学院工学系研 究科長, 化学システム工学専攻 教授)
第346回 (13. 9.27)	蛋白質: その科学と科学技術政策	郷 信広 (京都大学大学院 理学研究 科 教授)
第347回 (13.10.31)	脳科学に期待すること	伊 藤 正 男 (理化学研究所 脳科学総合 研究センター所長)
第348回 (13.11.27)	日本人のアイデンティティと創造性 言語・思考法・創造性	渡 辺 力 蔵 (株)日立金属インテック社長)
第349回 (13.12.21)	電気通信分野における最近の動向	立 花 佑 介 (日本電信電話(株) 代表取締役副社長)
第350回 (14.1.18)	新年懇親会	—————
第351回 (14.2.28)	新戦争と国家安全保障	加 藤 朗 (桜美林大学国際学部教授)
第352回 (14.3.29)	会員討議 技術同友会調査研究プロジェクトテーマ 「研究者・開発技術者の望ましい キャリア・パス」	[司会] 高 柳 誠 一 (株)東芝 技術顧問)

なお、平成13年度最後の例会では、技術同友会が現在進めている調査研究プロジェクトテーマの「研究者・開発技術者の望ましいキャリア・パス」のまとめ方について、会員で討議を行った。

このほか、友誼団体のFF会を支援し、1月には合同の幹事会を開催している。